

遠野消防早見ガイド

管内の概要

(平成 30 年 3 月 31 日現在)




面積 825.62 km²
 人口 27,504人
 世帯数 10,809戸

総務

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



署所 員数 消防団員数

消防本部	1		定数	53人		定数	935人
消防署	1		実数	52人		実数	897人
出張所	1						

施設

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



防火対象物

1,222件



危険物施設

製造所 1件
 貯蔵所 138件
 取扱所 46件

警防

(平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

火災件数 22件

救急件数 1,278件

救助件数 27件



建物火災 11件
 林野火災 2件
 車両火災 1件
 その他 8件



急病 782件
 一般負傷 135件
 交通事故 71件
 その他 290件



交通事故 16件
 水難事故 0件
 建築物事故 0件
 その他 11件

車両

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

緊急車両

タンク車	1	指揮車	3
ポンプ車	3	資機材搬送車	2
救助工作車	1	広報車	3
救急車	3	多目的作業車	2



消防団車両

ポンプ車	15
積載車	53
広報車	1

は じ め に

この消防年報は、平成29年度(2017年)中の活動概況等を収録したものです。広く消防・防災情報として住民の皆さんに提供することで、現況と課題を御理解いただくとともに、その推進について御協力をいただければ幸いです。

平成 30 年 7 月

遠野市消防本部

目 次

概要		
1	遠野市のあらまし	1
2	世帯数及び人口の推移	2
3	消防の沿革	3
4	遠野市消防本部・署所所在地	10
総務		
1	遠野市消防本部組織図	13
2	平成 28 年度中の主な行事	14
3	遠野市の決算状況	17
4	消防予算と世帯当たり及び人口 1 人当たりの消防予算	18
5	階級別・年齢別職員数	19
6	在職年数別消防職員数	19
7	平成 28 年度職員の研修・資格取得状況	20
8	遠野市総合防災センター見学者数	21
予防		
1	建築同意	25
2	消防用設備等の規制	26
3	住宅用火災警報器	30
4	防火団体等の現況	31
5	危険物規制	33
6	産業保安規制	34
警防		
1	平成 29 年の火災概況	39
2	救急業務の現況	45
3	救助業務の現況	53
4	管内の気象状況	58
消防団		
1	遠野市消防団組織及び分団配置図	65
2	階級別定員数	66
3	年齢別・階級別団員数	66
4	勤続年数別団員数	67
5	年別消防団員数	67
6	遠野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例	68
7	消防団協力事業所一覧	69
施設		
1	消防水利	73
2	消防本部車両配備状況	73
3	ヘリコプター離着陸場	74
4	消防防災通信施設状況	75
5	災害時要援護者通報関係システム	76
6	遠野市消防団車両配備状況	77
防災		
1	災害対策本部・警戒本部の設置状況	81
2	避難場所	84
3	防災資機材倉庫	91
4	自主防災組織	95
5	防災教育	98

遠野市のあらし

1 遠野市の概況

本県を縦断する北上高地の中南部に位置し、内陸と沿岸を結ぶ交通と産業の結節点の要所にあり、標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高300m～700mの高原群が周囲を囲み、市域の中央部の遠野盆地に中心市街地を形成しています。

冷涼な気候と豊かな自然環境を生かした農林畜産業を基幹産業とし、米を中心に、野菜やホップ、葉たばこなどの農産物と畜産を組み合わせた複合経営がされており、日本一の乗用馬生産地として知られています。

四季が織り成す豊かで美しい広大な自然は、日本の原風景として全国の多くの人々に親しまれ、『遠野物語』に代表される歴史と文化を活かした観光・交流人口の拡大に取り組んでいます。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、本市の地理的条件を生かし、官民一体となって取り組んだ後方支援活動は、災害復旧・復興支援における先駆的な取組として「遠野モデル」とも称され、全国、さらには海外からも高い評価と大きな注目を集めています。

2 面積及び位置

遠野市の面積 825.62Km²
(東西38.5km・南北38.2km)
遠野市の位置 東端(東経 141° 44' 59")
西端(東経 141° 18' 12")
南端(北緯 39° 11' 21")
北端(北緯 39° 33' 21")

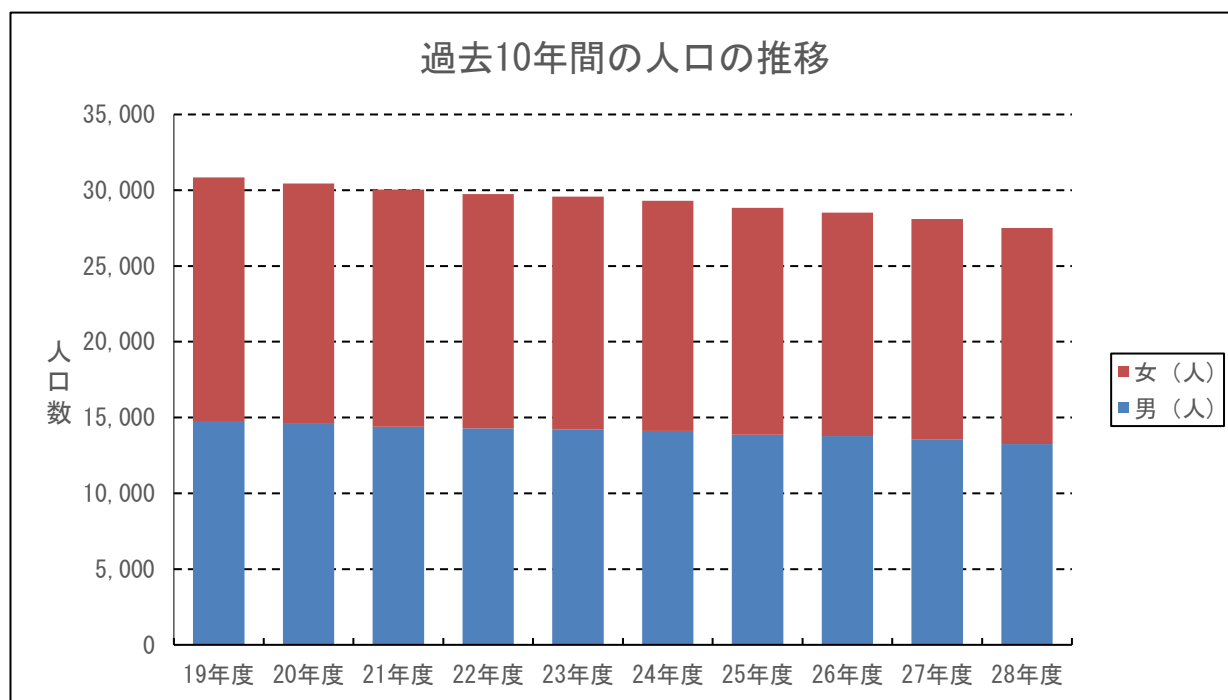
3 主要な交通路

JR釜石線
(花巻市→**遠野市**→釜石市)
国道107号
(大船渡市→**遠野市**→由利本荘市)
国道283号
(釜石市→**遠野市**→花巻市)
国道340号
(陸前高田市→**遠野市**→八戸市)
国道396号
(**遠野市**→盛岡市)
東北横断自動車道釜石秋田線
(釜石市→**遠野市**→秋田市)

世帯数及び人口の推移

各年3月31日現在

	世帯数(戸)	総人口(人)	男(人)	女(人)	1km ² 当たりの人口(人)
平成20年度	10,706	30,854	14,775	16,079	37.37
平成21年度	10,673	30,455	14,576	15,879	36.89
平成22年度	10,668	30,035	14,392	15,643	36.38
平成23年度	10,705	29,746	14,282	15,464	36.03
平成24年度	10,795	29,587	14,209	15,378	35.84
平成25年度	10,875	29,310	14,107	15,203	35.50
平成26年度	10,845	28,830	13,863	14,967	34.92
平成27年度	10,886	28,529	13,779	14,750	34.55
平成28年度	10,890	28,098	13,576	14,522	34.03
平成29年度	10,809	27,504	13,259	14,245	33.31



消 防 の 沿 革

昭和31年	11月	遠野市消防本部設置 初代消防長に瀨川長悦（事務取扱）が就任 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配置 職員 5 名配置
昭和34年	4月	遠野市消防署を設置 電話 119 番受付開始 職員 6 名配置
	7月	第 2 代消防長に市長村上順弥が就任
	11月	ジープ級消防ポンプ自動車 1 台を消防署に配置
昭和35年	4月	職員 2 名増員
昭和36年	2月	消防本部（消防署）庁舎落成 望楼（25m）新設
	4月	職員 2 名増員
昭和37年	4月	職員 1 名増員
昭和40年	2月	化学水槽付消防ポンプ自動車を消防署に配置
	4月	職員 2 名増員
	12月	消防ポンプ自動車 1 台を消防署に配置
昭和41年	10月	消防無線基地局、移動無線局各 1 基を設置
昭和42年	3月	第 3 代消防長に市長工藤千蔵（事務取扱）が就任
	4月	職員 2 名増員
	7月	岩手県総合防災訓練を実施（本市会場）
昭和43年	4月	職員 4 名増員
	6月	消防ポンプ自動車を消防署に配置（日本損害保険協会寄贈）
昭和44年	2月	消防ポンプ自動車を消防署に配置
	4月	職員 2 名増員
	10月	第 4 代消防長に堀切重五郎が就任
	12月	救急車 1 台購入 消防無線移動局 1 基新設 職員 23 名に増員
昭和45年	1月	救急業務開始
	5月	消防本部指令車を更新
	11月	消防無線移動局 1 基増設
昭和46年	6月	遠野地区消防事務組合庁舎建築工事着工（敷地面積 1,897 m ² ）
昭和47年	2月	遠野地区消防事務組合庁舎完成（庁舎面積 757.58 m ² ）
昭和48年	2月	消防ポンプ自動車 1 台購入
	4月	遠野地区消防事務組合発足（1 消防本部・1 消防署・1 分署） 管理者に遠野市長工藤千蔵、消防長に堀切重五郎が就任 消防職員 36 名（新採用 11 名）
	6月	宮守分署に救急自動車（2B 型）を配置
	7月	遠野消防署宮守分署庁舎建築工事着工（敷地面積 550.00 m ² ）

	8月	職員2名増員（消防職員38名）
	11月	遠野消防署宮守分署庁舎完成（庁舎面積211.90㎡）
	12月	宮守分署業務開始 職員9名・消防ポンプ自動車1台・救急自動車（2B型） 無線基地局1基・移動局2基
昭和49年	3月	職員定数条例を38名とする（消防吏員36外）
	4月	職員4名増員（消防職員42名）
昭和50年	3月	消防本部2課4係に改組 総務課（庶務係・経理係） 消防課（予防係・警防係）
	4月	第2代消防長に市長工藤千蔵（消防長事務取扱）が就任 職員1名増員（消防職員43名）
	9月	遠野消防署に救急自動車（2B型）を更新配置
	10月	第3代消防長に瀬川権太郎が就任
昭和51年	9月	消防本部に広報車を配置（日本防火協会寄贈）
昭和52年	4月	職員1名増員（消防職員44名）
昭和53年	10月	消防本部に防火広報車を配置（日本防火協会寄贈）
昭和54年	3月	職員定数条例を42名とする（消防吏員41外）
	4月	職員4名採用
	10月	職員定数条例を44名とする（消防吏員43外）
昭和55年	4月	第4代消防長に三嶋敏明が就任 職員3名採用
	8月	消防本部に司令車を更新配置
	12月	岩手県防災行政無線完成、消防本部に端末局設置 職員定数条例を46名とする（消防吏員45外）
昭和56年	4月	第5代消防長に遠野市助役及川増雄（消防長事務取扱）が就任 職員2名採用
昭和57年	4月	第2代管理者に遠野市長小原正巳が就任 職員2名採用
	7月	第6代消防長（消防長心得）に菊池 信が就任
	8月	遠野消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新配置
昭和58年	8月	第7代消防長に遠野市助役梅田収得（消防長事務取扱）が就任 宮守分署に救急車（2B型）を更新配置
昭和59年	4月	第8代消防長に菊池 勉が就任
	7月	職員3名採用
	8月	消防本部に広報車を更新配置
昭和60年	9月	消防本部に査察広報車を更新配置
昭和61年	3月	遠野消防署に救急車（2B型）を更新配置
	6月	第9代消防長に千葉富三が就任
昭和61年	9月	遠野消防署に消防ポンプ自動車1台（BD-I型）を更新配置
昭和63年	3月	遠野地区消防事務組合本部設置15周年記念式典
	4月	当直勤務3部制を実施
	11月	自治体消防制度40周年記念誌 遠野郷消防総監「絆」発行

平成元年	4月	第10代消防長に山蔭敬二が就任 消防緊急情報システム（同報系）、災害弱者緊急通報システム設置 職員1名採用
平成2年	4月	職員1名採用（消防職員45名）
平成3年	4月	第11代消防長に佐々木一彦が就任 職員1名採用（消防職員45名） 消防本部に消防次長職を設置
	6月	消防本部の防火広報車を更新配置
	11月	遠野消防署の査察広報車を更新配置
	12月	宮守分署に消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配置
平成4年	3月	消防指揮車を配置
	4月	第12代消防長に佐々木光一が就任 職員1名採用（消防職員45名）
	6月	職員定数条例を47人とする。 （消防吏員46人・消防吏員以外の消防職員1人）
平成5年	2月	患者監視装置を救急車（遠野）に搭載（救急業務高度化推進）
	4月	職員1名増員（職員2名採用・消防職員47名）
	9月	消防本部災害活動組織を明確化し災害時の体制を強化
	10月	職員定数条例を48人とする （消防吏員47人・消防吏員以外の消防職員1人） （財）日本消防協会より山間地仕様救急車受納、宮守分署に配置
	11月	患者監視装置を救急車（宮守）に搭載（救急業務高度化推進）
	12月	消防署に消防無線車（現場指揮隊）を配置
平成6年	4月	第3代管理者に遠野市長菊池 正が就任 第13代消防長遠野市助役中居健雄（消防長事務取扱）が就任 職員1名増員（職員1名採用・消防職員48名）
	5月	救急救命士資格取得1名
	7月	職員定数条例を49人とする。 （消防吏員47人・消防吏員以外の消防職員1人）
	8月	消防本部に災害時現場指揮所 多数傷病者の収容を目的としたエアーテントを配備
	9月	遠野消防署に消防ポンプ自動車1台（CD-I型）を更新配置
	10月	消防本部に指揮支援用司令広報車を配置
平成7年	3月	応急救護処置普及資器材を整備し、住民の救急指導の促進 自動心マッサージ機等を装備し、応急処置9項目の完全実施を図る
	4月	第14代消防長に田代春男が就任 職員1名増員（職員3名採用・消防職員49名）
	5月	救急救命士資格取得1名
	9月	平成7年度岩手県総合防災訓練（会場：遠野市）
	10月	緊急消防援助隊組織に編入（消火部隊）
平成8年	4月	遠野消防署に高規格救急車を配置・救急救命士による高度救急隊運用開始
	5月	救急救命士資格取得1名

	9月	宮守分署一部改築工事完了
	10月	職員定数条例を51人とする。 (消防吏員50人・消防吏員以外の消防職員1人)
		平成8年遠野市総合防災訓練
平成9年	4月	職員1名増員(職員1名採用・宮守村派遣職員1名任用・消防職員50人)
	9月	職員定数条例を52人とする。 (消防吏員51人・消防吏員以外の消防職員1人)
平成10年	1月	救助工作車(Ⅱ型)を導入
	4月	職員2名増員(職員2名採用・消防職員52名) 遠野消防署に救助工作車を配備、運用開始 岩手県防災航空隊へ職員1名派遣
	6月	自治体消防制度50周年記念誌「愛郷」発行
	10月	職員定数条例を53人とする。 (消防吏員52人・消防吏員以外の消防職員1人)
平成11年	3月	宮守分署に指揮広報車を配置
	4月	第15代消防長に菊池 年が就任 職員1名増員(職員1名採用・消防職員53名)
平成11年	5月	救急救命士資格取得1名
	6月	災害弱者緊急通報システムセンター装置更新
	10月	遠野消防署に水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配置
平成12年	4月	消防本部2課5係 遠野消防署3係に改組 総務課(庶務係・消防係) 消防課(警防係・予防係・保安指導係) 遠野消防署(警防係・予防係・救急救助係) 職員1名採用
	5月	救急救命士資格取得1名
平成13年	3月	宮守分署に高規格救急車を配置・運用開始
	4月	第16代消防長に白金久四郎が就任
	5月	救急救命士資格取得1名
平成14年	1月	平成13年度1.17合同防災訓練(会場:遠野市)
	4月	第4代管理者に遠野市長本田敏秋が就任 第17代消防長に松本武則(消防長心得)が就任 職員1名採用
平成15年	2月	遠野消防署に消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配置
	4月	第18代消防長に照井公一が就任 職員2名採用 遠野市の機構改革に合わせて消防本部総務課庶務係を総務係に改め、 消防課保安指導係を廃止する 遠野地区消防事務組合発足30周年
	7月	遠野地区消防事務組合発足30周年記念式典
平成16年	3月	遠野消防署に非常用救急車を更新し高規格救急車を配置
	4月	職員1名採用

	11月	遠野消防署に査察広報車を更新配置 救急救命士資格取得 1 名
平成17年	3月	遠野消防署に消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配置
	4月	第19代消防長に菊池長一郎が就任 職員 1 名採用
	8月	第34回全国消防救助技術大会ロープ登はんの部出場(消防副士長 齋藤武男)
	9月	消防事務組合解散
	10月	遠野市と宮守村が合併し遠野市となる。 遠野市消防本部発足(1消防本部、1消防署、1出張所) 消防総務課 2 係(総務係・防災係) 保安施設課 2 係(保安情報係・施設管理係) 遠野消防署 3 係(予防係・警防係・消防団係)
	11月	遠野市消防団が遠野市遠野消防団、宮守村消防団が遠野市宮守消防団となる 携帯電話119番直接受信方式運用開始
平成18年	4月	岩手県から産業保安に関することの権限を委譲される。
	5月	救急救命士資格取得 1 名
	6月	国民保護法に関する遠野市条例が制定される。
	12月	第 1 回遠野市国民保護協議会
平成19年	3月	仙人峠道路供用開始に伴う 3 消防本部合同防災訓練 遠野市遠野消防団・宮守消防団団旗返納式
	4月	第 2 代消防長に菊池 守が就任 職員 1 名採用 消防本部内に遠野市防災センター整備室が設置される。 岩手県防災航空隊に職員 1 名派遣 遠野市遠野消防団、遠野市宮守消防団が統合し遠野市消防団となる。 遠野市消防団第 1 代団長に細川 巖が就任
	6月	遠野市消防団結団式
	8月	第37回全国消防救助技術大会ロープ応用登はんの部出場 (消防副士長 菊池丈文、消防士 菊池伸行)
	9月	岩手県総合防災訓練(主会場:遠野市)
	11月	三陸地域地震災害後方支援拠点施設整備推進協議会が設立される。
平成20年	1月	宮守出張所に消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配置
	3月	遠野消防署に防火広報車を更新配置
	4月	職員 2 名採用
	5月	救急救命士資格取得 1 名
平成21年	4月	第 3 代消防長に奥寺啓蔵が就任 職員 3 名採用(うち救急救命士資格取得者 1 名)
	5月	救急救命士資格取得 1 名
平成22年	1月	遠野市消防団機能別分団市役所班を発足
	4月	職員 4 名採用 岩手県消防学校教官として職員 1 名派遣
平成23年	4月	遠野市消防本部庁舎建築工事着工(敷地面積 12,96404m ²)

		職員 1 名採用
	5 月	救急救命士資格取得 2 名 第 4 代消防長に千葉一見が就任 第 2 代遠野市消防団長に井手 純が就任
平成24年	10 月	高規格救急車を更新配置
	3 月	遠野市消防本部庁舎完成 (床面積：庁舎棟2,264.74㎡、訓練棟A605.88㎡、訓練棟B317.65㎡)
	4 月	職員 2 名採用
	5 月	救急救命士資格取得 1 名
	7 月	遠野市総合防災センター落成式
	11 月	遠野消防署に指揮車を更新配置
平成25年	4 月	第 5 代消防長に谷地孝敏が就任 職員 4 名採用 岩手県防災航空隊に職員 1 名派遣
	5 月	救急救命士資格取得 1 名
	8 月	第42回全国消防救助技術大会はしご登はんの部出場 (消防士 堀切翔人)
平成26年	3 月	旧消防庁舎跡地に新張地区コミュニティ消防センターが落成 遠野市防災基本条例制定 救急救命士資格取得 1 名
	4 月	職員 4 名採用
	9 月	救命士追加講習受講 4 名 (血糖測定、ブドウ糖投与等)
	11 月	救命士追加講習受講 3 名 (ビデオ硬性挿管用喉頭鏡)
	12 月	救命士追加講習受講 2 名 (ビデオ硬性挿管用喉頭鏡) 日本消防協会から消防団車両が寄贈される
平成27年	3 月	敷地内に遠野市後方支援資料館が開所 消防救急デジタル無線システム運用開始 救急救命士資格取得 1 名
	4 月	第 6 代消防長に小時田光行が就任 第 3 代遠野市消防団長に松田克之が就任 職員男性 2 名、女性 2 名採用 (うち救急救命士資格取得者 1 名)
	8 月	第44回全国消防救助技術大会ロープ応用登はんの部出場 (消防士 山口裕毅、消防士 佐藤貴幸)
	10 月	救命士追加講習受講 4 名 (血糖測定、ブドウ糖投与等) 救命士追加講習受講 3 名 (ビデオ硬性挿管用喉頭鏡)
	11 月	救命士追加講習受講 3 名 (ビデオ硬性挿管用喉頭鏡)
平成28年	1 月	株式会社オノデラサインから車両が寄贈される
	3 月	救急救命士資格取得 1 名
	8 月	第45回全国消防救助技術大会はしご登はんの部出場 (消防士 小水内晶紘) 救命士追加講習受講 4 名 (血糖測定、ブドウ糖投与等)
	10 月	全国消防操法大会出場 遠野市消防団第 9 分団第 2 部
平成29年	3 月	救急救命士資格取得 1 名
	4 月	職員 1 名採用

平成30年	8月	第46回全国消防救助技術大会ロープ応用登はんの部出場 (消防副士長 山口裕毅、消防副士長 中居拓麻)
	10月	宮守出張所に高規格救急車を更新配置
	3月	救急救命士資格取得1名

遠野市消防本部・署所所在地



遠野市総合防災センター
 遠野市消防本部・遠野消防署
 〒028-0501 遠野市青笹町糠前 10-46
 TEL 0198 (62) 2119
 FAX 0198 (62) 2271



宮守出張所
 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守 29-73-1
 TEL 0198 (62) 2119 ※消防本部から転送します。
 FAX 0198 (67) 2037

